



高橋教授の

この人に 会いたい

Vol.70

ゲスト

平塚 満

氏 株式会社キネカ取締役COO

転職エージェント、Uber Eats、メルカリ……。近年、マッチングビジネスが活況を呈している。株式会社キネカ（本社・東京都港区）が手がけるエンターテイメント特化型プラットフォーム「pato」（パト）は、マッチングビジネスの代表的な成功モデルだ。躍進するpatoに象徴されるマッチングビジネスは、深刻な人手不足に悩む医療・介護業界の救世主となる可能性を秘めている。そんな仮説をもとに、創業メンバーの1人、平塚満取締役COOを直撃した。

マッチングビジネスに透けて見えた 医療界の人手不足を克服するヒント

最適なキャストを選ぶため AIが複数の候補者選出

高橋 私は、供給者と需要者をつなげる役割をもつプラットフォーム以前から興味がありました。マッチングビジネスのジャンルは多岐にわたりますが、その多くがプラットフォーム型のマッチングサービスを採用しています。見たことのないマッチングサービスが次から次へと現れてくる印象です

が、まずはpatoの概要から教えてください。

平塚 2017年にサービス提供を開始したpatoは、オンラインで男女をマッチングするシステムです。会員の男性（ゲスト）がスマートフォンアプリを使って、30分以内に飲食店、バー、カラオケ店などの待合場所に到着できる女性（キャスト）を手配。キャストは飲み会を盛り上げ、接待の場を華やかに彩ってくれます。「箱型」キャバクラ店のインターネット版

と言えるでしょう。キャストの累計登録者数は1万1000人を超え、全国17エリアで利用できます。

高橋 なるほど。それでは、実際にpatoを使い女性を呼ぶ手順はどのようになっていますか。

平塚 たとえば、すでにpatoに登録している男性が東京・六本木にいて、これから女性と食事に行きたいと思うとします。そのときスマホのアプリを開き、30分以内に六本木に来ることができると女性に募集を出します。それに対し、

面談を経てキャストとして登録している女性が応募する形になります。必ず面談審査を経た女性を登録しており、通過率（登録率）約10%の厳格な審査があるからこそ、サービスの質を保っています。当日、六本木周辺でサービス提供可能とエントリーしているキャストのなかから、ゲストの要望やこれまでの履歴などを参考に、AIが複数の候補を瞬時に選出、その結果がスマホ上に写真や紹介文付きで瞬時に表示されます。そのなか

撮影＝原 恵美子



から自分の好みと金額、場所、時間の折り合いがつけば、選択ボタンを押すと、その後、30分以内に指名した女性が指定したレストラン

ンやバーなどに現れ、食事を楽しめます。
高橋 ドライでスマートな仕組みですね。料金体系を教えてください。

い。
平塚 料金はポイント制（1ポイントが税込み1・2円）です。キャストに応じて3段階のランクがあ

り、1時間当たり、ロイヤルVIP 2万5000ポイント、VIP 1万4000ポイント、プレミアム9500ポイントとなっています。料金は、登録したクレジットカードから支払われます。
高橋 これに飲食代が加わるので、ロイヤルVIPの女性と2時間食事をする、六本木の高級クラブ、プレミアムの場合は普通のクラブ程度の価格感になりますね。

トラブルを避ける仕組みづくり 厳しい面談でサービス維持

高橋 ところで、SNSをめぐるトラブルが頻発していて、社会問題化しています。patoのシステムは、トラブルを回避するための工夫が随所になされているようにみえますが。

平塚 そうですね。身元がしっかりわかる方が利用できるようにクレジットカード登録にしているため、抑止効果が生まれます。また、現金払いの場合、約束をしても実際には支払われないケースもありますが、クレジットカードであればア

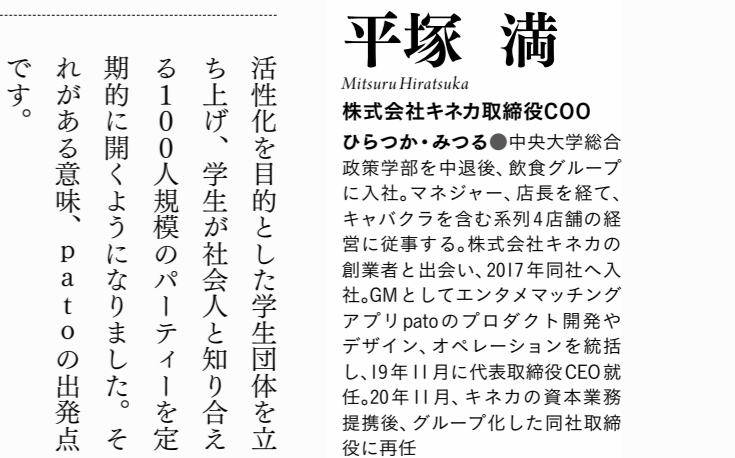


他業種から働き方を学ぶ発想を——平塚

りで決済が完結します。確実に入金される仕組みは、構造的にコア部分です。そのほか、通報システムがあり、カスタマーセンターに担当者が24時間常駐。電話やチャットでいつでも連絡できる体制をとっています。

高橋 SNSは、身元不明の出会いになります。pattoがお互いの身元を保証し、はずれない仕組みといえますね。

平塚 サービスを利用する男性に



平塚 満

Mitsuru Hiratsuka
株式会社キネカ取締役COO
ひらつか・みつる ●中央大学総合政策学部を中退後、飲食グループに入社。マネジャー、店長を経て、キャバクラを含む系列4店舗の経営に従事する。株式会社キネカの創業者と出会い、2017年同社へ入社。GMとしてエンタメマッチングアプリpatoのプロダクト開発やデザイン、オペレーションを統括し、19年11月に代表取締役CEO就任。20年11月、キネカの資本業務提携後、グループ化した同社取締役役に再任

活性化を目的とした学生団体を立ち上げ、学生が社会人と知り合える100人規模のパーティーを定期的に開くようになりました。それがあある意味、pattoの出発点です。

飲食店でアルバイトをしていたのですが、それが楽しくなり、大学を中退し、その後、複数のキャバクラ店を任されるようになりました。その頃、ビジネスのマッチングアプリでキネカ創業当時のオーナーと出会いました。

高橋 その当時、すでにマッチングアプリには精通していたのですか。

平塚 全然していませんでした。ただ、オーナーはpattoの骨格となるサービスのイメージをもっていました。オーナーの「新しい当たり前」をつくる事業への情熱

人手が足りない人のニーズがマッチングできれば、お互いハッピーですね。

確かに、医療界には人材マッチングで非効率な部分があるのではないかと思えます。ちよつとしたスキルや短時間のマッチングであれば、われわれのようなサービスが業態変化することで対応可能のように思います。介護マッチング、ヘルパーマッチング、お手伝いマッチングのようなものが考えられる

労働力の再掘り起しは不可避

——高橋

でしょう。

人口減少が急速に進むなか 隙間時間で労働力を確保

高橋 人口がどんどん減少していくわけですから、時間効率を上げなければなりません。しばらくの間、従来の方法による女性と高齢者の雇用の掘り起しにより、団塊の世代がリタイアした分の労働力を補っていました。しかし、もは



高橋 泰

Tai Takahashi
国際医療福祉大学教授
たかはし・たい ●1986年、金沢大学医学部卒業、東京大学病院第1第3第2内科・麻酔科で研修。92年、同大学医学部医学系大学院医学博士課程修了(医学博士)後、米国スタンフォード大学に留学。94年、ハーバード大学公衆衛生校に武見フェローとして留学。97年4月、国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科教授。2016年9月より21年3月まで安倍内閣未投資会議の構造改革徹底推進会合医療福祉部門副会長を務めた

やそれを使い切って補えなくなつた結果、人手不足が一層激しくなっています。これからは、労働力の再掘り起しに取り組む際に、pattoのようなマッチングアプリの利用がポイントになると思います。

平塚 そうですね。われわれのサービスは雇用が束縛されていない点が大きな特徴で、自分の好きな時間に働くことができ、シフトやノルマがありません。ノルマがないからといって、人は仕事をサボるわけではありません。自由を与えられることによって、人はむしろ違う行動を起こすことがわかってきます。

雇用されると、毎日、一定時間働かなければいけません。それも、人手不足が起きる要因です。定年退職した人には「束縛されず自由に生きたい」というニーズがある

に感銘を受けるとともに、「マッチングアプリの無限の可能性を感じ、水商売という業界を変えることができるのではないか」と思い、入社を決意しました。その後、pattoを認知してもらうため必死に売り込みを行い、業績が上がり、時代の後押しもあって、現在の自分があると思います。

隙間時間に働ける人を探し 持続的なサービス提供を模索

高橋 慢性的な人手不足に陥っている医療・介護・福祉の世界では、patto的なマッチングを活かせるのではないかと私は思います。隙間時間に働いていてくれるような人をいかに集めてくるか——。滞りなく持続的にサービスを提供する方法を考えなければいけません。マッチングビジネスは大いに役立つのではないのでしょうか。

平塚 高齢者のなかには、定年退職後、時間をもてあましている方がいる一方で、若年夫婦は共働きのため子どもの面倒を見ることができません。手の空いている人と

一方、「たまには少しだけ働きたい」という思いもあります。自分の好きな時間、好きな仕事であれば働くのです。

高橋 働き方改革はまったく同じ話で、働いている時間の効率を上げることよりも、隙間時間をどうするかが非常に重要となります。一番効果的なのは、使う側と使われる側のニーズをぴったりと合わせ、雇う側にとって必要な労働力を働く側の隙間時間で埋めることでしょう。

平塚 働き方改革については、当社のサービスのノウハウがヒントになると思います。医療界には改革しなければならぬ点があり、他業種から発想を学び、ヒントにするのはいいことです。

高橋 ビジネスモデルとして興味深いpattoをはじめ、マッチングアプリの利用により、医療や介護の世界でも今までにない新しい世界が創出できることを、今回の対談で皆さんに示せたのではないのでしょうか。

本日は、どうもありがとうございます。